

# TOWN

## 延岡への修学旅行 プランなど提案

旭中3年生・あさひタイム

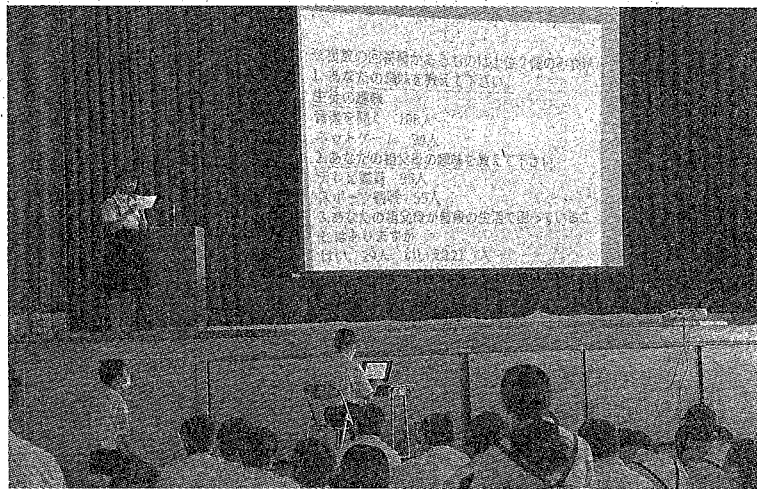
### 3年間の探究の成果を発表

延岡市立旭中学校 (池野宗宏校長、223人) の3年生75人は8日、「あさひタイム」の発表会を同校体育館で行った。

延岡市キャリア教育支援センター(水永正憲センター長)の協力の下、探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組む姿勢や課題解決の能力を養うことなどを目的としている。「あさひタイム」で、10

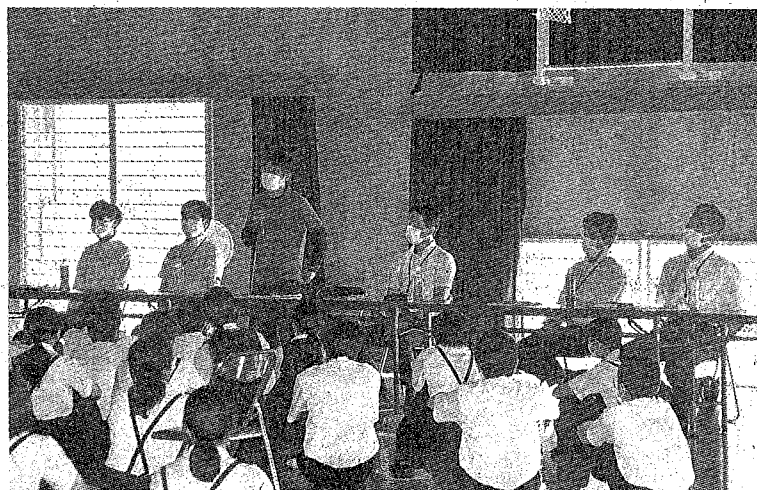
年後の世の中と私「SDGsを通して考える」をテーマに、市内の①商業施設・交通機関②医療福祉③農業・水産業・工業④観光⑤食⑥スポーツの各分野で働く社会人をメンター(助言者)として招き、1年次から学習を深めてきた。3年次では、与えられた課題の解決策を12班に分かれて模索した。

この日は、各分野を担当する市役所や市内事業所から6人のメンターが来校。12班は、取材やアンケート調査から導き出した結果などを5分間発表した。



登壇して発表する生徒

このうち、観光分野のA班は、市外の中学生を対象に延岡市の魅力を発信して、来てもらえるようなPR方法を考案すること



講評するメンター

を考案することとして与えられた。発表では、生徒が考えた1泊の日の修学旅行のプランを提案。シユノ

「ケリングや那智の滝の観光、延岡の料理が楽しめる飲食店などの魅力や歴史を説明した」と振り返った。

発表後にはメンターから「しっかりと調べていて良かった」「ユニークな提案だった」などの評価を受けた。水永センター長は「答えが一つではない課題を解決する力が必要な時代になっている。今回の経験を思い出して、さらに磨きを掛けてほしい」と締めくくった。

医療福祉分野Bの班長を務めた服部幸之助さん(14)は「これまでアンケートの比較などをして調べてきた。発表は緊張したが、練習通りにできて良かった」と振り返った。